

クラブ訪問

229

「団結力を武器にして」

成田ゴールデンウィングス

私たち成田ゴールデンウィングスは、小学1～6年生の男女31人で活動している野球クラブです。土・日曜日、祝日に松ノ下公園野球場で練習しています。

普段は1～3年生と4～6年生に分かれて、ゴロやフライの捕球練習、ティーバッティングなどの打撃練習を行っています。基礎練習を重点的に行うことで正しい投げ方・打ち方を身に付け、そこから自分なりのフォームを作っていけるよう工夫しています。

チーム全体で心掛けているのは、元気に挨拶すること、道具を大切にすること、グラウンドをきれいに使うことです。練習以外のことにも日頃からみんなで取り組んでいるので、学年に関係なく和気あいあいとした雰囲気です。今年度は大会の数が減ってしまった分、一つ一つの試合を大切にしようと、チームで団結しながら練習に取り組んでいます。

これまでの大会では1・2回戦で負けてしまうこともありましたが、12月に行われた成田ボーイズ杯では昨年の優勝チームに勝ち、3位という成績を残すことができました。今後行われる大会でもチームの団結力を生かして、全員野球で優勝を目指していきたいです。



宮川 修弥 キャプテン(6年生)

同じ小学校の先輩に誘われて3年生から野球を始めました。卒業まで残り少ないので、1日1日を大切に、大会で結果を残したいです。



下半身のひねりを意識して



坂道ダッシュも笑顔で

なかまと一緒に

226

「思い出の服が新たな品に」

染織・織民

私たち「染織・織民^{おりみん}」は、毎月第2・4木曜日に中央公民館で織物を楽しんでいるサークルです。

織物とは縦糸と横糸を交差させて作る布地のことです。糸だけで織る場合もありますが、活動では主に、古くなった布を裂いてひも状にしたものを横糸の代わりに使う「裂き織り」をしています。

裂き織りは一つの物をより長く使うための工



和気あいあいと楽しんでいます

夫から生まれた技法です。私たちが古い服を捨ててしまいう思ひからサークルを始めました。材料には、自分や家族の使わなくなった服のほか、100年以上前の浴衣を使うこともあります。思い出が詰まった服を使って織っていると、着ていた時のエピソードが浮かんできます。活動中は服の思い出話に花を咲かせながら楽しく作業をしています。

裂き織りは、織った時の柄の出方によって、和柄の浴衣が現代アートのような模様になったり、チェック柄のスカートがアジアテイストな模様になったりと、雰囲気様が異なります。どんな柄になるかは織ってみてのお楽しみ。出来上がりはどれも味わいのある柄になるので、いつも期待しながら作業をしています。

織った布からはバッグや小物入れなど、さまざまな物を作ることができます。自分の手で生まれ変わらせることができる。「また使えるようになって良かった」と心が温かくなります。

裂き織りをしていくうちに、これまで以上に物を大切にしたいと思うようになりました。これからも生涯の趣味として続けていきたいです。



先生に聞きながら丁寧に縦糸を通す



裂き織りで織った作品の数々



いいだ れん
飯田 蓮くん(左)・蘭ちゃん(右)

これからもずっとラブラブな兄妹でいてね♡



あきやま うみ
秋山 侑海くん(左)・朱莉ちゃん(右)

気がつくとき寄り添っている2人。仲良くたくましく育ってね!

スクスクのびのび

490

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください) 広報課 ☎20-1503